

平成 21 年 3 月 19 日

南海電気鉄道株式会社

～世界遺産・高野山の玄関口にふさわしく、高齢者や車いすのお客さまにやさしい駅へ～

こうやさん ごくらくばし

## 南海・高野山駅と極楽橋駅のバリアフリー化工事が完成

南海電気鉄道（本社：大阪府中央区、社長：亘 信二）では、すべてのお客さまにご利用いただきやすい鉄道を目指して駅施設などのバリアフリー化に取り組んでいます。そして3月26日（木）当社鋼索線（ケーブルカー）の発着駅である高野山駅と極楽橋駅のバリアフリー化工事が完成します。

ケーブルカーの構造上、両駅のホームは急な階段状となっているため、これまでお客さまにとって上り下りが大きな負担となっていました。同工事の完成によって、世界遺産・高野山の玄関口にふさわしく、高齢者や車いすをご使用のお客さまにもご利用いただきやすい駅となります。

### 西日本初！ ケーブルカー駅にエレベーターを設置

極楽橋駅にはスロープや車いす用階段昇降機などを、そして高野山駅にはエレベーターなどを設置。ケーブルカー駅へのエレベーター設置は“西日本初”となります。

なお、同工事は国土交通省および地元自治体からの補助金を受けるとともに、高野山真言宗 総本山金剛峯寺からは高野山の森で成長した木材（エレベーター連絡通路の腰壁などに使用）の提供を受けるなどのご協力をいただいています。

詳細は次ページのとおりです。



高野山駅のエレベーター棟と連絡通路



エレベーターの連絡通路内



極楽橋駅のスロープ

## 高野山駅・極楽橋駅バリアフリー化工事の概要

### 1. 整備したバリアフリー化施設

<高野山駅>

エレベーター1基および付帯する通路など

多機能トイレ、手すり、誘導・警告ブロックなど

<極楽橋駅>

車いす用階段昇降機1基

スロープ、多機能トイレ、手すり、誘導・警告ブロックなど

### 2. エレベーター供用開始予定

平成21年3月26日(木)16時ごろ

### 3. 事業費

約3億円(国と和歌山県、高野町の補助を含みます)

### 4. バリアフリー化の取り組み経過

平成18年12月	高野町が「高野町移動等円滑化基本構想」を策定 (同月20日に施行された「バリアフリー新法」適用第1号)
20年 3月24日	高野山駅・極楽橋駅のバリアフリー化工事着手
6月27日	高野山駅「多機能トイレ」供用開始
7月18日	極楽橋駅「スロープ」供用開始
11月 4日	極楽橋駅「多機能トイレ」供用開始
11月17日	極楽橋駅「車いす用階段昇降機」供用開始
21年 3月26日	高野山駅「エレベーター」供用開始予定

### 5. 駅の概要

<高野山駅>

所在地：和歌山県伊都郡高野町大字高野山国有林第9林班ノは

開業日：昭和5年(1930)6月29日

乗降人員：1,611人(平成19年度の1日平均)

<極楽橋駅>

所在地：和歌山県伊都郡高野町大字高野山国有林第8林班

開業日：昭和4年(1929)2月21日

乗降人員：49人(平成19年度の1日平均)

以上